

# RV215WのLANポート管理

## 目的

[ポート管理]ページでは、RV215Wのポートを異なる速度およびフロー制御設定に設定できます。ユーザは、高速データトラフィックを必要とするデバイスが1つのポートに接続し、速度を必要としないデバイスが別のポートに接続できるように、ポートの速度を調整できます。帯域幅はポート上で適切に分散できます。フロー制御設定は、フローデータの制御に役立ち、さらに帯域幅管理にも役立ちます。

この記事では、RV215WでLANポート管理を設定する方法について説明します。

## 該当するデバイス

- RV215W

## [Software Version]

- 1.1.0.5

## ポート管理

ステップ1: Web構成ユーティリティにログインし、[Networking] > [LAN] > [Port Management]を選択します。「ポート管理」ページが開きます。

Port	Link	Mode	Flow Control
1	Down	Auto Negotiation	<input type="checkbox"/>
2	100Mbps Full Duplex	Auto Negotiation	<input checked="" type="checkbox"/>
3	Down	Auto Negotiation	<input type="checkbox"/>
4	Down	Auto Negotiation	<input type="checkbox"/>

Save Cancel

ステップ2: [Port Management Table]で、[Mode]ドロップダウンリストから編集するモードを選択します。使用可能なオプションは次のとおりです。

- オートネゴシエーション：このオプションは、RV215Wと接続デバイス間の共通の速度を自動的に設定します。
- 10Mbps Half：このオプションは、10Mbpsでデータを送信しますが、一度に送信する方法は1つだけです。
- 10 Mbps Full：このオプションは、10 Mbpsで同時に両方向にデータを送信します。

- ・ 100Mbps Half : このオプションは、100Mbpsでデータを送信しますが、一度に送信する方法は1つだけです。
- ・ 100Mbps Full : このオプションは、100Mbpsで同時に両方向にデータを送信します。

ステップ3: ( オプション ) フロー制御チェックボックスをオンにします。これにより、デバイスはデータ速度を調整できるため、高速な送信者が低速な受信者を圧倒することはありません。

注 : 送信側のデータ速度が受信側のデータ受信容量よりも低い場合は、フロー制御オプションは必要ありません。

ステップ4:[Save]をクリックします。